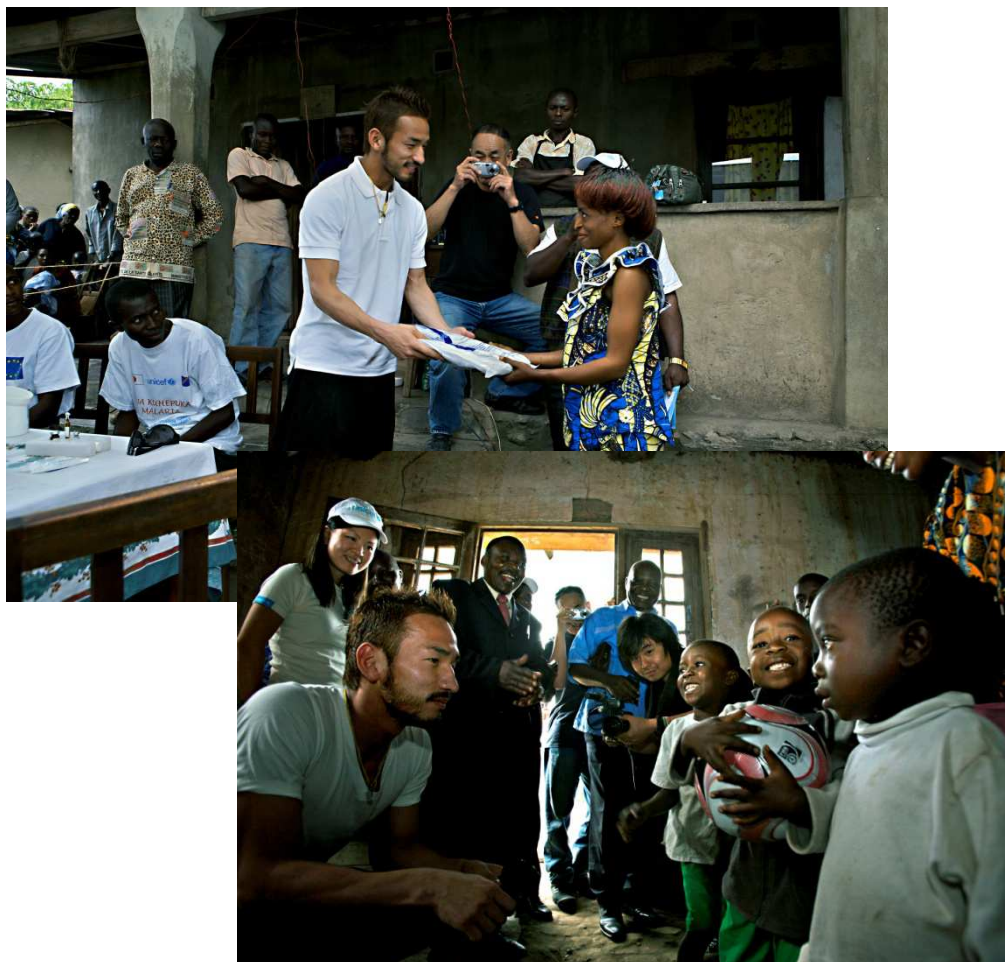


一般財団法人
TAKE ACTION FOUNDATION
Activity Report
2009～2012

2009年事業内容



2008年 TAKE ACTION +1 キャンペーン による コンゴ共和国への蚊帳配布プロジェクト

2008年6月に展開されたTAKE ACTION !2008 +1キャンペーンのチャリティーガラ及び+1フットボールマッチの一部を収録したDVD「中田英寿 僕が見た、この地球。旅、ときどきサッカー」の収益金の一部と住友化学株式会社からの寄付によりユニセフを通じて、アフリカ コンゴ民主共和国へマラリア予防対策として蚊帳46,544張を寄贈しました。

未だワクチンが開発されていないマラリアは、殺虫処理を施した蚊帳を使用することで感染を予防することができます。今回の配布では、妊婦約16,140人、5歳未満の子ども約48,550人が対象となり、5歳未満の子どもの死亡率を約25%下げる効果が見込まれています。

■実施概要

実施地域: コンゴ民主共和国

実施時期: 2009年5月～

総寄付額: 30,121,923円

配布蚊帳数: 46,544帳

対象: 妊婦約16,140人

5歳未満の子ども約48,550人



TAKE ACTION in 甲府

地域活性やサッカーの普及を目的として、元プロサッカー選手で構成される TAKE ACTION F.C.の選手たちによるサッカーマッチやサッカークリニックを山梨県甲府市で「TAKE ACTION in 甲府」として開催しました。

4月12日に行われた「LIFE AFTER FOOTBALL MATCH」には、16,120人の人々がサッカーマッチを楽しみ、その結果として山梨県サッカー協会よりサッカーマッチの収益金から試合運営経費と税引当額を差し引いた18,350,000円を寄付いただき、南アフリカと山梨県の子どもたちへのサッカーボール支援が実現、同年夏よりボールの配布を実施しました。

■開催概要

開催地：山梨県甲府市

来場客数：16,120人

総寄付額：18,350,000円

TAKE ACTION in 甲府 TAKE ACTION in 甲府における「+1」のアクション

●リユースカップ リユースカップを使用したゴミの削減

会場での飲食の際は再利用可能なリユースカップを使用。使い捨ての紙コップ、プラスチックカップなど、無駄なゴミを削減に努めました。

●カーボンオフセット カーボンオフセットの実施

試合で発生するCO₂、選手の移動、スタジアムの消費エネルギー、会場内のゴミ処理についてカーボンオフセットを実施。排出権を購入することで、発生したCO₂を相殺しました。

●地球に優しい素材をつかったオフィシャルグッズ

TAKE ACTION in 甲府オフィシャルグッズにおける「Tシャツ」「マフラータオル」の素材は、生産農家が農薬を使わない、地球にやさしい農法を選ぶための“支援プログラム”プレオーガニックコットンを採用しました。





『+1CLICK ACTION』 第1弾 学校給食プログラム

TAKE ACTION FOUNDATIONでは、場所や時間を問わず誰もが参加できる機会として、インターネット上で間接的に社会貢献活動に参加することができる「+1CLICK ACTION」をプログラムを2009年6月よりスタートしました。

第一弾では、株式会社東芝のご協力により、国連WFPを通じて2010年春に10万食の給食支援プログラムを実施。栄養価の高い給食を提供して、子どもたちの発育を助けると同時に、教育の機会を拡げ、教育を確実に受けられるよう開発途上国の子どもたちの教育を後押ししました。

■実施概要

プログラム実施時期：2009年6月～

対象地域：ケニア共和国

支援実施時期：2010年春～

支援給食数：100,000食





TAKE ACTION in 甲府 TAKE ACTION in 甲府 による サッカーボール配布プロジェクト1

TAKE ACTION in 甲府による収益金から地域活性プロジェクトとして山梨県サッカー協会より山梨県内少年サッカーの振興と青少年の健全育成に役立ててほしいとの趣旨で2,500,000円が甲府市に寄付されました。

これに伴い甲府市は、サッカーボール1,000個を山梨県内全ての少年サッカーチーム(全90チーム、1チーム当たり11個)に寄贈しました。また、2008年8月2日には、J2リーグヴァンフォーレ甲府ホームゲーム(横浜FC戦)の試合前、甲府市内の少年サッカーチームの代表24名を招いてサッカーボール贈呈式が行われました。

■実施概要

開催地：山梨県甲府市
実施時期：2009年8月以降
総寄付額：2,500,000円

配布数：1,000個

対象：90チーム(約3,000人)



TAKE ACTION in 甲府 TAKE ACTION in 甲府 による サッカーボール配布プロジェクト2

TAKE ACTION in 甲府による収益金の一部を山梨県サッカー協会より寄付いただき、南アフリカでのサッカーボール配布プロジェクトを実施しました。

現地では、サッカーボール配布のみならずエイズ、犯罪、暴力、麻薬など様々な困難に直面している青少年たちへ必要とされているライフスキル(生き抜く力)教育プログラムを実施。

また、寄付総額の一部は、TAKE ACTION FOUNDATIONがスタッフや選手を派遣し、サッカーボール配布に携わるのみならず国際支援の現状や成果・課題をきちんと伝え、継続的にこうした社会貢献活動の必要性や意識の向上を支援していく活動に活用しています。

■実施概要

開催地：南アフリカ

実施時期：2009年6月～2010年3月

総寄付額：15,850,000円

配布ボール数：20,000個

対象：585の学校

実施協力：財団法人日本ユニセフ協会



湘南ベルマーレ、JICA(国際協力機構)との 使用済みサッカーボール配布プロジェクト

かつて中田が所属していた湘南ベルマーレ、及びJICA(国際協力機構)「世界の笑顔のために」プロジェクトご協力のもと、サッカーボールをペナン共和国、カメルーン共和国、ウルグアイ東方共和国の小学校や地域の青少年サッカーチームにサッカーボールを配布するプロジェクトを実施しました。

モノのあふれる日本では、まだまだ使用できるボールが処分されている一方で、途上国では新聞紙やゴミ袋を丸めて作ったボールでサッカーを行っていたり、ボールを持っている学校が僅かであることから、現地の小学校の大部分では、体育の授業で球技を行うことが困難であるのが現状です。サッカーは上記各国でも最も人気のあるスポーツであることから、こどもたちの学習意欲の更なる喚起にもつながり、チームワークの大切さを学ぶことによる情操的教育効果も期待できます。

■実施概要

回収時期: 2009年8月～

配布実施地: ペナン共和国、カメルーン共和国、
ウルグアイ東方共和国

実施時期: 2010年春

協力: 湘南ベルマーレ、JICA(国際協力機構)



『+1 FOOTBALL CLINIC』 コカ・コーラ環境フォーラムの一環として開催

2009年8月9日、北海道夕張郡栗山町の『雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス』にて開催された『コカ・コーラ環境フォーラム2009』の一環として、『TAKE ACTION F.C.』のメンバーが子供たちにサッカーの楽しさを教えるサッカースクール『TAKE ACTION +1 FOOTBALL CLINIC』を開催しました。

この環境フォーラムは、財団法人コカ・コーラ教育・環境財団（所在地：東京都港区、理事長：縄英明）が文部科学省と環境省の後援をうけ、8月7日（金）～9日（日）に、環境教育に関する活動で顕著な実績を修めた団体・個人を顕彰、及び環境教育に関する先進的な企画を支援する『コカ・コーラ環境教育賞』の最終選考会を中心に、「環境・教育」をテーマとして行われたプログラムです。

■実施概要

「TAKE ACTION +1 FOOTBALL CLINIC in コカ・コーラ環境フォーラム2009」

主 催：財団法人コカ・コーラ教育・環境財団

開催日時：2009年8月9日（日）11：40～

開催場所：北海道夕張郡栗山町 コカ・コーラ環境ハウス

参加選手：井手口純氏、前園真聖氏、山口貴之氏 ※50音順

参加児童：コカ・コーラ環境フォーラム2009参加児童、北海道夕張郡栗山町児童

30,000クリック達成で
ひとり親家庭の保育支援を
1ヶ月間**約250世帯**に
提供することができます。



120クリックごとにひとり親家庭1世帯に1ヶ月病児保育を提供することにつながります。

毎日参加できる「なにかできること、ひとつ。」
TAKE ACTION! の「クリック基金」
あなたのクリックが社会貢献につながります。

※基金にお金はいりません。スポンサー企業があなたに変わって寄附をします。
※クリック基金に参加できるのは1日1回です。
※クリック基金の仕組みなど詳細は[こちら](#)をお読みください。

参加した方への「+1」
抽選で50名様に「ieri design products」
オリジナルグッズをプレゼント



目標 30,000クリック
現在までの
クリック総数 **29,954**

TAKE ACTION!
Click here

Supported by  ieri design products

イエリデザインプロダクツがあなたにかわって
病児保育支援プログラムに寄附をします。

『+1CLICK ACTION』

第2弾ひとり親家庭における保育支援 における保育支援プログラム

「ひとり親家庭における保育支援プログラム」として、イエリデザインプロダクツ株式会社の協力の元、病児保育支援に取り組むNPO法人フローレンスへのクリック募金を実施。

NPO法人フローレンスは、ひとり親家庭の現状に合わせて、通常の病児保育料金の80%を寄附でまかない20%支払うだけで利用できる支援プログラムを提供しています。

今回の+1クリックアクションでは、その80%をイエリデザインプロダクツ株式会社が寄附をして、約250世帯（一ヶ月分）に相当する支援されました。

■実施概要

プログラム実施時期：2009年9月～

対象地域：日本

対象世帯：250世帯



+1 FOOTSAL GAME for コカ・コーラ2009「森に学ぼう in 大宜味村」

コカ・コーラが次世代を担う子供たちを対象に、環境教育や環境保全を柱とする活動を通じて環境活動を‘体験する’機会を提供する中で、自然保護の大切さを理解してもらうことを目指す2009 コカ・コーラ「森に学ぼう」in大宜味村が沖縄県で開催され、特別ゲストとして招かれたTAKE ACTION F.C.のメンバーが子供たちと植樹体験やサッカーを通じて交流を深めました。

当日は、地元・沖縄の子ども達162名と保護者を中心に村内外から457名が参加。TAKE ACTION F.C.メンバーは代表の子供たちと共にシークワサーとつばきの記念植樹を行いました。また、この記念植樹後には全ての参加者が植樹を行い、植えた木の数はシークワサー・つばきを合わせておよそ500本となりました。

■実施概要

開催地：沖縄県国頭群大宜味村

実施日：2009年11月1日（日）

主催：沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

日本コカ・コーラ株式会社

参加選手：中田英寿、澤登正朗、氏家英行、阿部敏之、前田義貴

2009年事業内容



LOUIS VUITTON CHARITY GALA FOR “TAKE ACTION” 開催

日本の匠が持つ価値と可能性をより多くの人に知ってもらうきっかけ作りを目的として、2008年の+1キャンペーンに引き続き、「LOUIS VUITTON CHARITY GALA FOR “TAKE ACTION!” 2009」が開催されました。

オークションで集められた収益金12,650,000円は、TAKE ACTION FOUNDATIONを通じて、日本の伝統工芸・文化・技術などを再評価し、新たな価値を創造することを目的としたプロジェクトに活用されます。ものづくりの過程を伝えることにより、多くの人々に伝統工芸の価値や魅力を改めて知り・理解していただく“きっかけ”を提供していきます。

■開催概要

GALA開催地：東京都

オークション収益金：12,650,000円

収益活用内容：伝統工芸支援を目的とした「REVALUE NIPPON」



「森に学ぼう」コカ・コーラ エコロジースクール エコロジースクール開催 間伐・枝打ちやブラインドサッカーでブラインドサッカーで子供たちと交流

2009年12月13日(日)、三国コカ・コーラボトリング株式会社と日本コカ・コーラ株式会社が実施する「森に学ぼう」コカ・コーラエコロジースクールを埼玉県秩父にて開催し、TAKE ACTION F.C.メンバーとして中田英寿と北澤豪が参加しました。

「森に学ぼう」プロジェクトとは、コカ・コーラが次世代を担う子供たちを対象に、環境教育や環境保全を柱とする活動を通じて環境活動を「体験する」機会を提供する中で、自然保護の大切さを理解してもらうことを目指すもので、今年5月に開催されたコカ・コーラ環境教育賞にもエントリーした川口市立戸塚南小学校の子ども達58名が参加し、森林内での間伐、枝打ち体験活動を行い、その中でスペシャルゲストとして中田英寿と北澤豪氏がTAKE ACTION F.C.メンバーとして参加し、子供たちと一緒に自然を体験いたしました。

■実施概要

「森に学ぼう」コカ・コーラ エコロジースクール

日 時: 2009年12月13日(日)

会 場: 埼玉県「県民の森」周辺森林

主 催: 三国コカ・コーラボトリング株式会社

日本コカ・コーラ株式会社

協 力: 埼玉県、社団法人埼玉県農林公社

出 演: 中田英寿、北澤豪

川口市立戸塚南小学校の児童 58名



湘南ベルマーレJ1昇格記念試合「We're back」

2010年2月20日(土)に平塚競技場にて行われた湘南ベルマーレのJ1昇格記念試合『We're back!』にTAKE ACTION チームが出場しました。

当日は、湘南ベルマーレのご協力もあり、会場ではTAKE ACTIONならではの取り組みとして、1月12日に大地震に見舞われたハイチ支援を行うプロジェクト※1「TAKE ACTION FOR HAITI」の呼びかけや、途上国へサッカーボールを送るプロジェクトのためのサッカーボール回収を行うことができました。

会場には、元サッカー選手でもある駐日ハイチ大使が会場に駆けつけ、収益金はWFP国連世界食糧計画を通じて被災地への支援活動に活用されました。

- 日時 : 2010年2月20日(土)
- 場所 : 平塚競技場(〒254-0074 神奈川県平塚市大原1-1)
- 主催 : (株)湘南ベルマーレ (社)神奈川県サッカー協会
- 協力 : 一般財団法人TAKE ACTION FOUNDATION
- 対戦 : TAKE ACTION F.C. vs We're back F.C.(ベルマーレOB)
- 来場者数 : 13,000人
- 回収されたボール : 81個

尚、この日回収されたボールは、国際協力NGOピースウィンズ・ジャパンのご協力により2011年春にスーダンの子どもたちに届けられました。





ハイチ支援プロジェクト「TAKE ACTION FOR HAITI」

2010年1月12日ハイチ沖で発生した大地震による被害を受けたハイチ共和国への支援プロジェクト「TAKE ACTION FOR HAITI」を実施。グッズの販売やチャリティーオークションにおける収益金の一部をWFP国連世界食糧計画を通じて被災地の支援活動に活用されました。

【TAKE ACTION FOR HAITIチャリティーオークション】

Yahoo! オークション協力のもと、2010年2月22日よりチャリティーオークションを実施。多くのアスリートにオークションピースをご提供いただき、Yahoo! オークションにてチャリティーオークションを開催しました。

【参加アスリート】

古田敦也さん、松井稼頭央さん、田中将大さん、白鵬関、潮田玲子さん、宮里藍さん、杉山愛さん、上田桃子さん、中田英寿

【TAKE ACTION FOR HAITIグッズ】

TAKE ACTION FOR HAITIと題し、オリジナルグッズを制作。2月20日に実施された湘南ベルマーレJ1昇格記念試合会場や通販サイトにて本グッズを販売しました。

●寄付総額: 6,140,513円





TBC × TAKE ACTIONコラボプロジェクト「1エステ1アクション」

TBCグループ株式会社との新しい取り組み、『1エステティック→1アクション』を実施。これは、エステティックを受けることが社会貢献につながるという取り組みで、TBCのサロンで「森の恵みのエステティック」を受けていただくと、売上げの一部がTAKE ACTION FOUNDATIONを通じて社会貢献活動に役立てられるというものです。

第1弾の「森の恵みのエステティック」は、アフリカのタンザニア連合共和国・キリマンジャロ山麓の緑化活動に、第2弾の「水の恵のプロジェクト」は、南アフリカ共和国の生活改善の支援を継続している実績を持つ認定NPO法人『日本国際ボランティアセンター』（JVC）を通じた活動のサポートに活用されました。

■実施概要

【第1弾：森の恵みのプロジェクト】

実施時期：2010年3月1日～6月30日

支援結果：23,440本の苗木を植樹

【第2弾：水の恵みのプロジェクト】

実施時期：2010年7月1日～11月30日

支援結果：ウォータータンク約133,785リットル分の設置





食べ残し“ごめんなさい”プロジェクト

TABLE FOR TWOとの共同プロジェクトとして実施した「食べ残し“ごめんなさい”プロジェクト」は、食事の際に料理を“食べ残し”をしてしまった、その「ごめんなさい」の気持ちを寄付として、アフリカの子どもたちの給食を届けるプロジェクトです。

“意思表示カード”を会計時に提示することで、会計時に「24円」の寄付を加算。アフリカの子どもたちへ24円で給食が1食分が届く仕組み。2010年7月、南アフリカW杯全試合パブリックビューイングができる「nakata.net cafe」で「食べ残しプロジェクト」を実施。2010年6月～7月の期間中で2,631食分の寄付金が集まりました。

このプロジェクトは、継続的な活動を目指しており、今後も興味・関心のある店舗を募集しています。

●配布される給食の数 **2,631食分**





イリアンローヴ×TAKE ACTION プロジェクト

イリアンローヴのカスタマイズニット1枚の販売につき、インドのコットン畑で働いていた子どもに学校給食1ヶ月分を届けることができるプロジェクトを実施。

イリアンローヴ・カスタマイズニットの収益金の一部が、TAKE ACTION FOUNDATIONを通じて特定非営利活動法人ACEに寄付され、インドのコットン畑で働く子どもたちを支援する「ピース・インド・プロジェクト」の2011年の活動に役立てられます。

特定非営利活動法人ACEは、インドとガーナで子どもを危険な労働から守り教育を受けられるようにする現地プロジェクトの実施、日本で児童労働の問題を伝える啓発活動、政府や企業への提言活動、ネットワークやソーシャルビジネスを通じた問題解決の活動を行っています。

■ 具体的施策

- 1) 親や住民などへの啓発活動村の集会、劇や歌などによる文化プログラム、子どもの権利や児童労働、子どもの教育の重要性などについて学ぶミーティングなどを行って、親や住民の意識を高めます。
- 2) 住民グループによるモニタリング子ども権利保護フォーラム(CRPF)を設置して、住民が児童労働や子どもの就学状況をモニタリングしたり、親を説得して働く子どもを学校へ通わせるよう働きかける活動を行います。
- 3) 未就学の子どもへの教育支援。働いていたために学校に行けなかった子どもが基礎学力を身につけ、村の公立学校へ就学できるよう支援するブリッジスクールを運営します。
- 4) 公立学校の教育環境の改善?学校の先生、PTA、村のリーダーが定期的に話し合い、行政機関と連携して、学校の施設や教育環境の改善などに取り組みます。
- 5) 子ども参加による活動?子どもグループを組織し、子どもが学校の改善に参加したり、女の子の幼児婚を防ぐなど、子どもたちが抱える問題の解決に取り組めます。





レベルファイブ×TAKE ACTIONコラボプロジェクト 「11 for africa」

子供たちに人気のゲームソフト「イナズマイレブン」シリーズで、2010年7月に発売予定の最新作「イナズマイレブン3 世界への挑戦！！スパーク／ボンバー」（株式会社レベルファイブ）の売上1本につき11円を寄付する社会貢献プロジェクト『11 for Africa』（イレブンフォーアフリカ）を実施いたしました。

このプロジェクトは、ユニセフ（国連児童基金）を通じ、南アフリカ共和国の子どもたちに、サッカーボールを活用した教育プログラムを実施するもので、ワールドカップ南アフリカ大会への関心が高まる中、「イナズマイレブン3 世界への挑戦！！スパーク／ボンバー」の購入を通じて南アフリカの現状を知り、社会貢献に参加できる機会となっています。



2010年9月末時点で「イナズマイレブン3 世界への挑戦！！スパーク／ボンバー」は、1,101,040本を売上げ、12,111,440円の寄付金が集まり、ユニセフへ送られました。配布するボールは当初1万個の予定を上回り **30,000個以上のボール配布と教育プログラムの実施** が決定。

2010年12月3日に、最初の“サッカーボール配布教育プロジェクト”を、南アフリカ南部のエイズの影響を深刻に受けた、貧困農村部クワズールナタールのエンフムベーニ中等学校で実施。その後、南アフリカ全土の貧困地域にあり問題が指摘されている585の小中学校（7～14歳の子どもが通う）を対象に実施されました。



REVALUE NIPPON PROJECT

TAKE ACTION FONDATIONのREVALUE NIPPO PROJECTは、日本の伝統工芸・文化・技術の活性化プロジェクトとして、日本の匠が持つ価値と可能性をより多くの人に知ってもらう「きっかけ」作りを目的とするプロジェクトです。

2010年のテーマは“陶磁器”。プロジェクトの主旨にご賛同いただいた幅広いジャンルの専門家によるアドバイザリーメンバーに協力いただき、各アドバイザーが選出した工芸家によるコラボレーションをチームを組織。コラボレーションで作品を制作し、その模様を情報をメディアを通じて発信することで、工芸のジャンルに焦点をあてることを目的としています。

このプロジェクトでは、2009年のCHARITY GALAの売り上げの寄付を元に、作品の制作・宣伝活動を行います。完成した作品は、その年のCHARITY GALAで一部をオークション販売、その後も販売を行いながら、作品の売上収益を次年度の活動費としていきます。また、作品の展示機会を設け、工芸の魅力をより多くの人に触れていただく機会を創出してまいります。

●2010年参加メンバー

[アドバイザリー×工芸家×アーティスト]

- ・秋元雄史 × 見附正康 × 佐藤オオキ
- ・金子賢治 × 和田 的 × 佐藤 卓
- ・藤原ヒロシ × 新里明士 × 宮島達男
- ・松岡正剛 × 林 恭助 × 町田 康
- ・中田英寿 × 植葉香澄 × 奈良美智

●2010年完成作品の販売、展示について

- ・2010年10月30日 TAKE ACTION CHARITY GALA開催 作品披露
- ・2011年1月18日～ 日本橋三越にて、展示販売会を開催
- ・2011年2月23日～ 茨城県陶芸美術館にて展示会を開催

●作品制作、披露パーティー、展示会等、プロジェクトを通しての露出実績

テレビ[9番組]、新聞[45紙]、雑誌[70誌]、WEB[26媒体]

広告換算合計 ¥584,406,000-



TAKE ACTION CHARITY GALA 2010 with LOUIS VUITTON

CHARITY GALAとは、社会への支援・収益還元を活用することを目的として開催されるパーティーなどのことを指します。TAKE ACTION FOUNDATIONでは、日本の伝統工芸・文化・技術の活性化プロジェクトとして、日本の匠が持つ価値と可能性をより多くの人に知ってもらう「きっかけ」作りを目的に、「REVALUE NIPPON PROJECT」支援のために2009年より開催しています。

2010年のGALAでは、前年のGALA収益により活動を行ったプロジェクト作品発表だけでなく、日本文化をより体感いただけるようにと、ドレスコードを和装に限定。国内外から参加した総勢300名を超える来場者全てが着物に身を包んだ、過去に類を見ない規模の和装イベントとなりました。

第1部の智積院総本山では、茶道裏千家・家元自らがおもてなしをする貴重なお茶席の後、金堂にて、真言宗智山派の職衆による斉唱で誦せられる仏教音楽“声明”、井上八千代氏による能楽と京舞の特別な演目を披露。古来より伝承されてきた日本文化を感じるプログラムとなりました。

第2部はハイアットリージェンシー 京都に会場を移し、前年のGALA収益から活動した「REVALUE NIPPON PROJECT」で制作された作品の披露や、貴重な体験を提供する権利などを出品するチャリティオークションを開催しながらの晚餐会。オークションでは、コラボ作品の一部のほか、友禅の老舗「一ノ橋」によるルイ・ヴィトン特製の着物&綴織・人間国宝による帯や、本プロジェクトの趣旨に賛同して頂いた著名人との体験型のオークション品など、合わせて11の商品を出品しました。落札合計金額は24,080,000円、今回の売り上げは、次期以降の「REVALUE NIPPON PROJECT」として日本の伝統文化や伝統工芸を支援する活動ために活用されます。

●オークション売上総額 24,080,000円



TAKE ACTION in 宮崎

2011年1月10日(祝・月)、中田英寿が率いる「TAKE ACTION F.C.」が、宮崎県の口蹄疫復興イベントの一環としてサッカーチャリティマッチ「TAKE ACTION in 宮崎」を開催いたしました。

本イベントは、宮崎県が口蹄疫被害からの復興事業の一環として、観光産業をはじめとする本県産業の復興支援を図るとともに、口蹄疫復興に取り組む同県の元気な姿を全国に発信するために開催したもので、試合には、口蹄疫で家畜を失われた被害農家を対象に観戦者を募集し、約300人を招待し、会場は13,121人の満員で活気にあふれました。

本イベントの収益は、口蹄疫復興のため寄附及び地元サッカー少年団へのボール配布・購入事業に充てられます。

●寄付総額:8,808,066円

会場周辺ではTAKE ACTION 恒例の地域のおいしい「食」として、チキン南蛮、肉巻きおにぎり、炭焼地鶏など宮崎の物産展が約40店舗も展開され、たくさんの人で賑わいました。



また前日の9日(日)には、口蹄疫の被害の大きかった西都児湯地区にて、地元のスポーツサッカー少年団に登録している男女約150名の小学生を対象にTAKE ACTION F.C.チームがサッカー教室を都市清水台総合運動公園で行いました。

- ・日 時 平成23年1月10日(祝・月) 午後1時～
- ・場 所 宮崎県総合運動公園 陸上競技場
- ・対戦カード TAKE ACTION F. C. vs ホンダロックSC(JFL)
- ・観客数 13,121人
- ・主 催 (社)宮崎県サッカー協会
TAKE ACTION in 宮崎実行委員会



「相信希望 Fight & Smile」に出演する中田

東北地方太平洋沖地震 支援活動

2011年3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波、原子力発電所のトラブルといった、未曾有の災害に襲われた被災地の支援を行うため、TAKE ACTION FOUNDATIONでは、海外を中心に、日本への支援を呼びかける活動を行いました。

代表理事中田英寿が中国の最大級ポータルサイト「sina」に出演、日本への支援を呼びかけたほか、3月18日には、台湾赤十字社と台湾のテレビ局・中華電視と公共電視が共同で放送する、東北地方太平洋沖地震への募金チャリティー番組『相信希望 Fight & Smile』に出演。番組で中田は、馬英九総統に支援のお願いを伝えたほか、2008年のTAKE ACTION FOOTBALL MATCHユニフォームやスパイクなどをチャリティオークションに出品、日本への支援を訴えました。中田の出品したオークションも2700万円を超える落札となり、番組全体では21億円余りの寄付金となりました。



TAKE ACTION in SINGAPORE(シンガポール)

東日本大震災にみまわれた日本を支援するために、シンガポールサッカー協会とTAKE ACTION in シンガポール実行委員会(アルビレックス新潟シンガポール、一般財団法人TAKE ACTION FOUNDATIONで構成)による「TAKE ACTION in シンガポール」を開催しました。チャリティオークションやチャリティマッチの開催、現地シンガポールでの企業の義援金募集も行い、賛同した企業からの寄付を受付、集まった収益は、赤十字社を通じて被災地に届けられました。

4月2日には、シンガポールのJalan Besar Stadiumにて、チャリティマッチを開催、TAKE ACTIONチームからは代表を務める中田英寿の他に元日本代表選手の北澤豪、澤登正朗と前園真聖が参加しました。

1分間の黙祷が行われたあとゲームスタート、開始17分で、早速澤登選手のこぼれ球をアルビレックス新潟・Sのブルーノ選手がループシュートで先制。その後も両チーム得点を重ねる中、中田も、61分にチーム5点目のゴール。前日に行われたチャリティオークションで、この試合プレーをする権利を落札した方も後半から出場・PKを決めるなど、試合は盛り上がり、7-2で TAKE ACTIONチームが勝利をおさめました。

●寄付総額11,842,250円(日本円換算)

【チャリティマッチ概要】

タイトル: S.League Cares, Take Action with Albirex Niigata Singapore

開催日: 2011年4月2日(土)

主催: シンガポールサッカー協会、TAKE ACTION in SINGAPORE実行委員会

対戦カード: <Sリーグオールスターズ> VS <TAKE ACTION withアルビレックス
新潟シンガポール>

試合会場: jalan besar stadium (100 Tyrwhitt Road #01-01 Singapore 207542)



TAKE ACTION in THAILAND (タイ)

5月17日(火)チャリティマッチ「TAKE ACTION in THAILAND」がタイのバンコク市内のスパチャラサイスタジアムで行われました。

「TAKE ACTION F.C.」(STARS JAPAN)と、タイ代表チーム+元タイ代表レジェンドで構成される「THAILAND STARS」(LEAGUE STARS)のチャリティマッチ。TAKE ACTIONチームには、中田英寿と前園真聖をはじめ、元オランダ代表エドガー・ダーヴィッツ選手が参加。11,000人の観客は大いに盛り上げをみせ、また現地の地上波テレビ局にてゴールデンタイムで生中継が実施されるほどの話題を呼びました。

このチャリティマッチの寄付総額は16,310,900バーツ(約4,300万円)にのぼり、タイ赤十字社を通じて、3月の東日本大震災とタイ南部で起きた大洪水の被災者へ届けられました。

●寄付総額43,000,000円(日本円換算)

■開催概要

TAKE ACTION in THAILAND

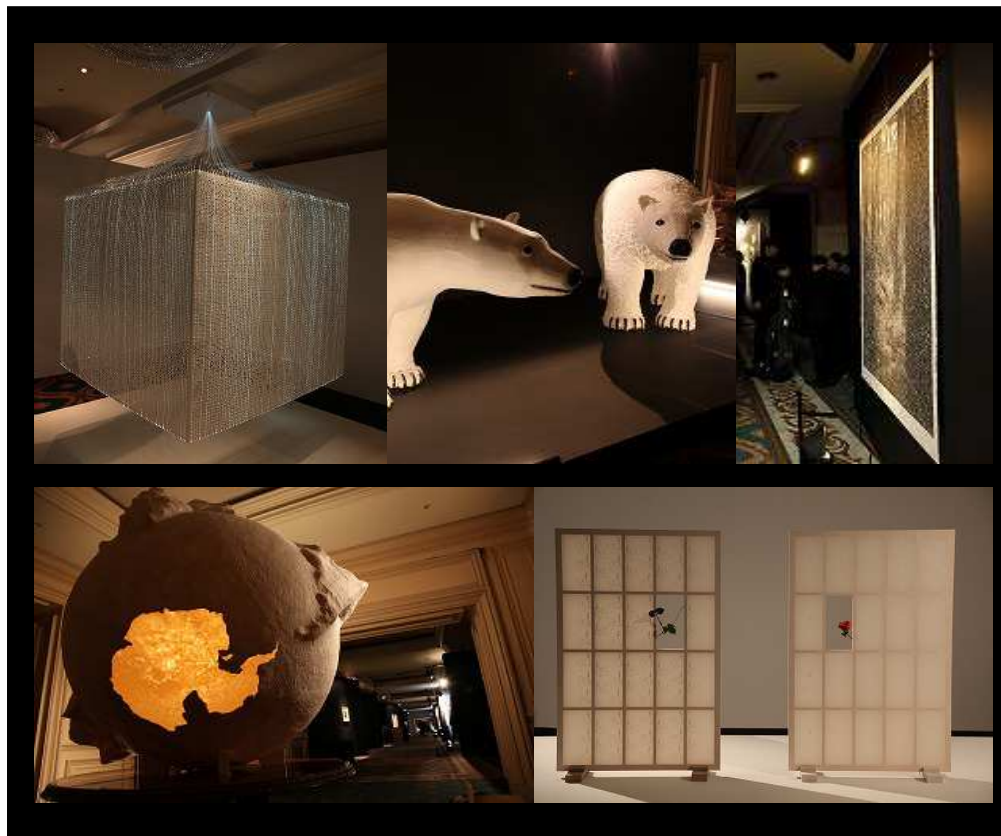
主催:タイサッカー協会、TAKE ACTION in THAILAND実行委員会
(FUJI GROUP、一般財団法人TAKEACTION FOUNDATION)

日時:2011年5月17日(火)

会場:バンコク スパチャラサイ スタジアム

対戦カード: THAILAND STARS VS TAKE ACTION F.C.

2011年事業内容



REVALUE NIPPON PROJECT 2011

日本の伝統工芸・文化・技術の活性化プロジェクトとして、日本の匠が持つ価値と可能性をより多くの人に知ってもらう「きっかけ」作りを目的とするプロジェクト、「REVALUE NIPPON PROJECT」、2年目の活動を実施しました。

2年目のテーマは“和紙”。アドバイザー・工芸家・コラボターによる共同制作された作品と、制作活動に焦点をあてることで、工芸分野に焦点をあてることを目的としています。また、2010年度REVALUE NIPPON PROJECT 作品について、2011年1月には日本橋三越での展示販売会、2月には茨城県陶芸美術館において展示会を開催しました。

●2011年参加メンバー

- ・小山薫堂 × 佐藤友佳理 × 隈研吾
- ・徳田佳世 × 嘉戸 浩 × 須田悦弘
- ・南條史生 × 藤森洋一 × 栗林 隆
- ・NIGO × 橋本彰一 × 片山正通
- ・中田英寿 × 堀木エリ子 × 操上和美、森山大道、上田義彦、鈴木理策、蜷川実花

●プロジェクトを通しての露出実績

テレビ[12番組]、新聞[30紙]、雑誌[19誌]、WEB[35媒体]
広告換算合計 ￥585,098,000-

●REVALUE NIPPON PROJECT 作品展

- ・2011年1月19日～1月25日 日本橋三越 本館1F中央ホール
- ・2011年2月23日～3月11日 茨城県陶芸美術館 展示ホール
(※13日まで開催の予定、震災の影響で11日で終了)
- ・2011年9月30日～10月16日「TBS TAKUMI FAIR」に出展

2011年事業内容



TAKE ACTION CHARITY GALA 2011 with lenovo

2011年11月19日(土)ザ・リッツカールトン大阪にて“TAKE ACTION CHARITY GALA 2011 with lenovo”を開催しました。『REVALUE NIPPON PROJECT 2011』で制作した作品を披露し、日本の伝統工芸・文化・技術などの魅力をより多くの人に知ってもらう“きっかけ”をつくることで、伝統文化の継承・発展を促すことを目的としたGALAです。

2011年の作品テーマは“和紙”。アドバイザーに小山薫堂(脚本家、放送作家)、徳田佳世(京都造形芸術大学キュレトリアルディレクター)、NIGO(R)(クリエイティブ・ディレクター)、南條史生(森美術館館長)(以上、敬称略)をむかえてプロジェクトを開始。完成した作品は、和紙で出来た等身大のシロクマや、5人の写真家によって撮影された日本の美しい風景を和紙に印刷した作品など、チームの個性が出たインパクトのあるものばかり。

“TAKE ACTION CHARITY GALA 2011 with lenovo”のドレスコードはオールブラック。「和紙」を最大限にひきたたせるため、対照的な色である黒をテーマに、会場には約280名のゲストが集まりました。別所哲也さん、長谷川理恵さん、布袋寅泰さん、ピアニストの辻井伸行さんら、豪華メンバーも、真っ黒の衣装で出席いただきました。

GALAのオープニングは、ダンスと映像の組み合わせにより、新しいエンターテインメントを生み出した「KAGEMU」が登場。この日のためにホテルが特別な食事をお楽しみいただきながら、Boyz II Menのスペシャルパフォーマンスやベストドロッサー賞の発表も行われ、会場は大盛況となりました。和紙作品の一部や、スペシャルな体験権利を語由比したオークションでは、和紙作品のほか、「GUCCIが西陣織の巨匠とコラボした特別な帯とバンブーバッグ」「世界的ピアニスト辻井伸行さんがあなたのためにピアノを弾いてくれる権利」など、さまざまなものがチャリティーオークションにかけられ、会場は大盛り上がり、**オークション総額は2,625万円**に達しました。

このオークションの収益を次年度以降の活動費として、伝統文化の魅力を多くの人に伝え、プロジェクトを継続していきます。

●オークション売上総額 26,250,000円



東北津波被災の全サッカー少年3665名に サッカージャージの寄贈

TAKE ACTION FOUNDATIONでは、東日本大震災後の緊急支援として、2011年4月にシンガポールで、2011年5月にタイにてチャリティー・マッチを開催しました。それらの試合で各国から集まった寄付金を受け、日本赤十字社とTAKE ACTION FOUNDATIONは協業で、2011年に岩手・宮城・福島の3県に対し、津波の影響で私財等が流されてしまった子ども達へ練習用チームジャージの寄贈を行いました。

寄贈対象となったのは、サッカー協会に登録している岩手・宮城・福島の3県で津波被害地域として各県サッカー協会が認定しているチームから、申請をした小中高サッカー部全員。

岩手県:871人（36チーム）
宮城県:2474人（71チーム）
福島県:310人（14チーム）

合計3,655名

2011年12月24日には、寄贈を受けるチームを代表して、福島県相馬市磯部中学校を財団代表理事中田英寿が訪れ、クリスマスプレゼントとしての贈呈式を行いました。



岩沼みんなの家

「みんなの家」は、東日本大震災の被害を受けた地域の方々が、仮設住宅で暮らす生活においても、集いコミュニケーションを交わしあうような場を提供できないかとして始まった、建築家・伊東豊雄氏を中心としたプロジェクトです。

同プロジェクトにTAKE ACTION も参加し、宮城県岩沼市における建設計画がスタートしました。岩沼市は従来農業が盛んな地域でしたが、東日本大震災で甚大な被害を受けました。そこからの復興には農業の復活が生命線と考えられており、その農業と地域の再建を目的とした活動拠点を求めるニーズに応えるカタチでプロジェクトがスタート。「みんなの家」プロジェクトに賛同したインフォコム株式会社のサポートにより、2012年秋から具体的な計画が始まりました。2012年9月には、伊東豊雄氏や中田英寿も参加して、宮城県・岩沼市を訪問。建設候補地を視察・検討を重ねた結果、岩沼市の集団移転地の近接地域に「岩沼インフォコムみんなの家」を建設することが決定。2013年7月の完成を目指して建設が進められています。

建設・運営には、周辺地域の復興・市民と協働のまちづくりを目的とする特定非営利活動法人ががんばと!!玉浦が協力。完成した後は、憩いの場となるだけでなく、地元産農作物の直売を行ったり、常設されるかまどを使ったイベントなど、地元に着目し、復興拠点として地元の方々に活用される予定です。

2012年事業内容



REVALUE NIPPON PROJECT2012

日本の伝統工芸・文化・技術の活性化プロジェクトとして、日本の匠が持つ価値と可能性をより多くの人に知ってもらう「きっかけ」作りを目的とする、「REVALUE NIPPON PROJECT」。

3年目となる2012年のテーマは“竹”。今回も、さまざまなジャンルのアドバイザーメンバー、竹芸家、デザイナーや現代アーティストといったコラボレーターが集結、アイデアに富んだ作品を制作しました。同時に広報活動を行い、作品を制作する過程やモノづくりの技術をマスメディアに取り上げていただくことで、竹が持つ可能性を広く伝える働きかけを行っています。

なお、作品を披露するGALAについては、2013年2月に開催しています。

さらに、過去のプロジェクトで誕生した「陶磁器」「和紙」をテーマとする作品を、3月に銀座三越で、4月には茨城県陶芸美術館、10月末にはTOKYO DESIGNERS WEEK 2012にて、展示・販売を実施。より多くの方にプロジェクトの紹介や作品の魅力に触れていただく機会を設けました。

●2012年参加メンバー

- ・佐藤可士和 × 田川欣也 × 谷村丹後
- ・祐真朋樹 × 阿部潤一 × 刀禰勇
- ・建畠哲 × 大塚雄司 × 塚田章 / 小山格平 / 堀口豊太 / 山中晴夫
- ・服部滋樹 × 名和晃平 × 森上仁
- ・中田英寿 × 森田恭通 × 中臣一

●REVALUE NIPPON PROJECT 作品展

- ・2012年3月28日～4月3日 銀座三越 8Fギャラリー
- ・2012年4月28日～6月10日 茨城県陶芸美術館 展示ホール
- ・2012年10月30日～11月5日 TOKYO DESIGNERS WEEK